

2025年度 地域共生学科食物栄養コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科食物栄養コースのディプロマポリシー

社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている。

栄養士に必要な基礎的・専門的な知識や技能を身につけている。

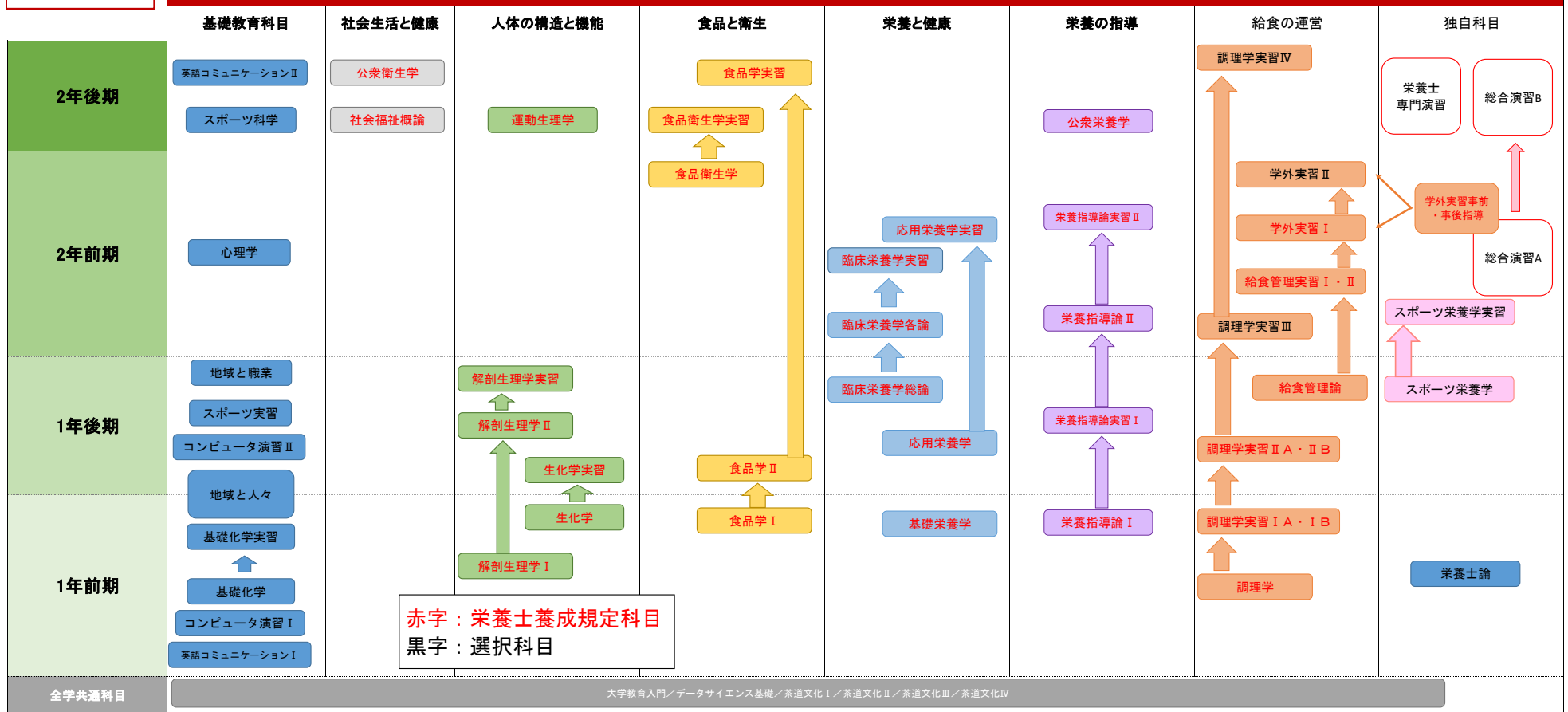
栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

現代の食に関わる様々な課題を発見・理解・分析し、解決に取り組むことができる。

学修経験をもとに、目標とする栄養士像に近づくために自身を向上させることができる。

カリキュラムポリシー (教育課程編成の方針)

- 1 社会人としての教養(基礎知識)を高めるために、全学必修の「茶道文化Ⅰ」「データサイエンス基礎」を配置する。
- 2 他者を理解し、尊重することができる社会性を養うために学科の専門科目内でのグループワーク授業を配置する
- 3 栄養士に必要な専門知識を習得するために栄養士養成規定科目を配置する
- 4 栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高めるために「給食の運営」、「栄養の指導」に関する科目を配置する
- 5 食と健康、食とスポーツ、食とライフステージに関する課題解決能力を高めるために「栄養の指導」、「スポーツ栄養」、「栄養と健康」に関する科目を配置する
- 6 学修体験を統合するために、「総合演習」を配置する



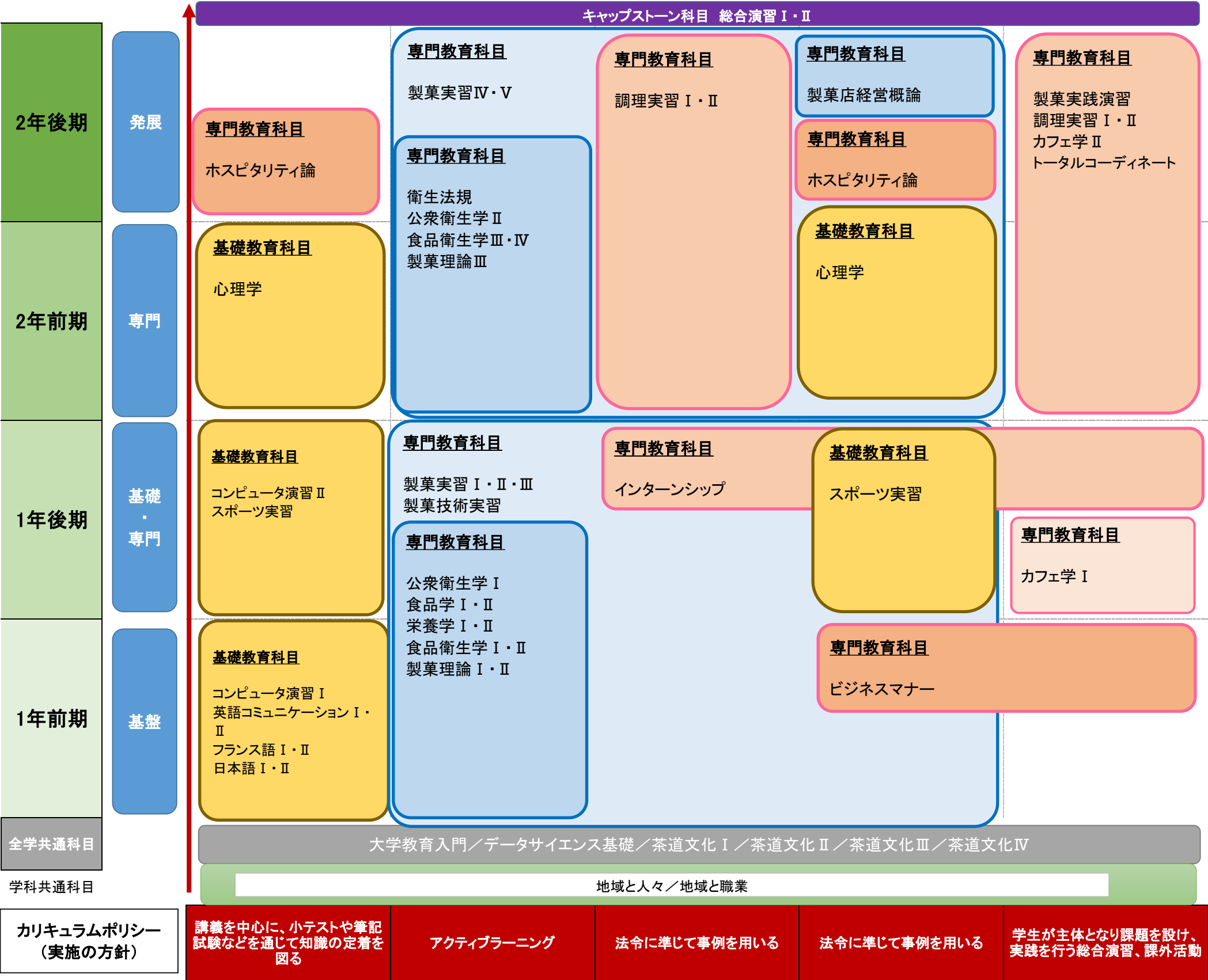
2025年度 地域共生学科製菓コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科製菓コースのディプロマポリシー

現代社会を生き抜く力 社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけてい	豊かな専門的知識や技能 製菓の専門的知識や技能を確実に修得し、体系的な理解ができる。	コミュニケーション能力 製菓製造の様々な場面や地域社会の交流の中で求められるコミュニケーション能力を発揮し、自らの役割を	課題解決能力 修得した知識や技能をもとに思考や判断を行い、現実の課題を解決するこ	主体的に学ぶ力 学習体験をもとに、自己のキャリアを主体的にデザインすることがで
---	---	---	---	--

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方針)

1. 基礎的な学力を身につけ、社会の出来事に興味を持ち積極的に学び続けるために「茶道文化」、「データサイエンス基礎」、「地域と人々」などを配置する
2. 製菓製造に関わる専門的知識を身につけ、安定した菓子製造に使える包括的な理解ができるために「食品衛生学」、「製菓理論」をはじめとする製菓衛生師専門科目を配置する
3. 製菓製造の場面での自分の役割を理解し、協働作業を行う力を獲得するために「製菓実習」、「調理実習」などを配置する
4. 専門的知識・技能を応用し、課題解決のためのアイデアを構想し、そのアイデアを実行するために「製菓店経営概論」、「総合演習」などを配置する
5. 学修体験をもとに、自己のキャリアを主体的にデザインすることができるように「カフェ学」、「総合演習」、「ビジネスマナー」などを配置する



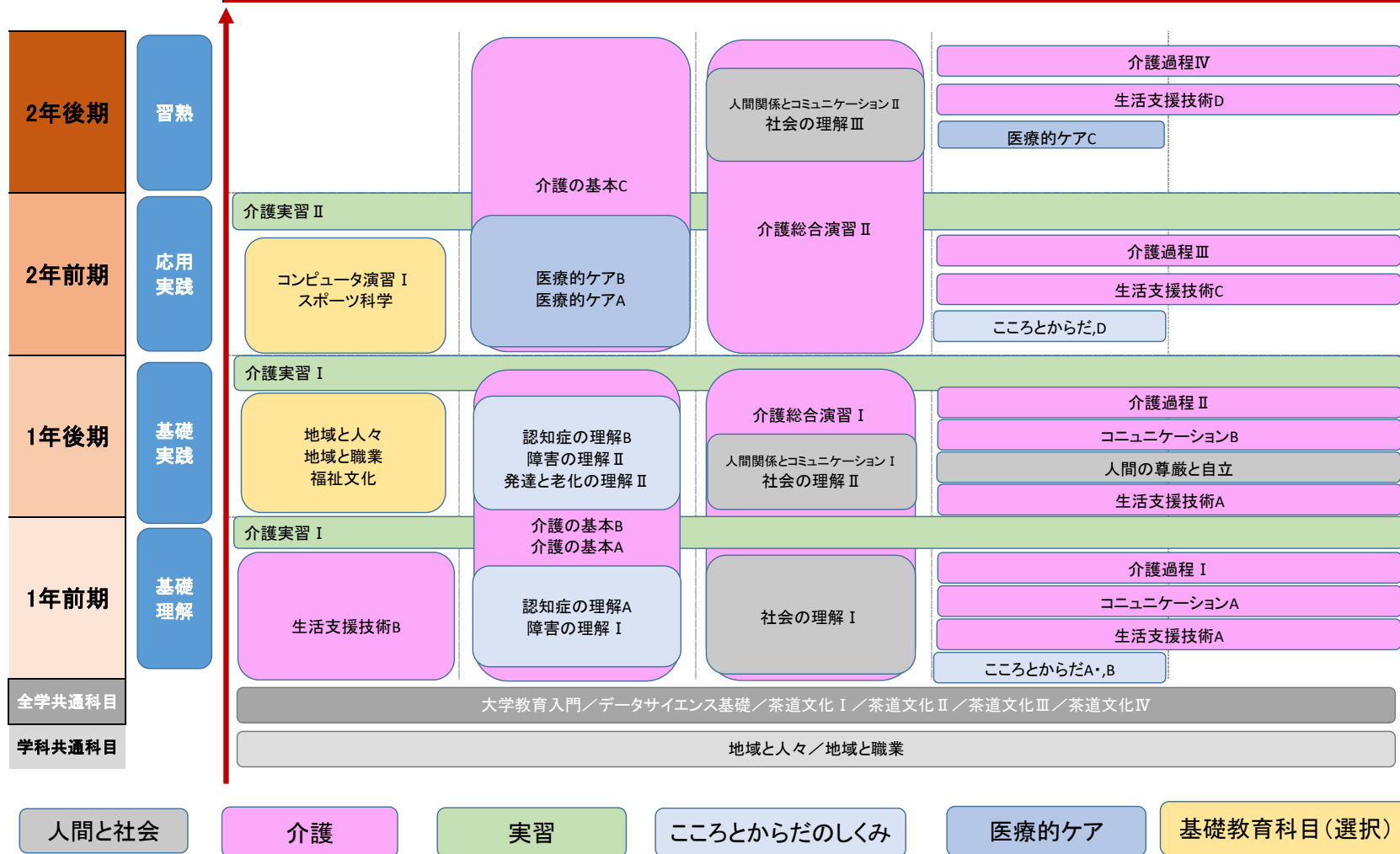
2025年度 地域共生学科介護福祉コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科介護福祉コースのディプロマポリシー

現代社会を生き抜く力 社会人として人間性と品格を備え、 分析的に考える力を身につけてい る。	確かな専門的知識や技能 介護福祉の専門的な知識と技能を 修得し、体系的な理解ができる。	コミュニケーション能力 介護が必要な人や家族、職場の同 僚や上司、他の専門職および地域 の人とコミュニケーションすることができ	課題解決能力 専門的な知識や技能を用いて課題 を解決し、自立を支える介護を実践 できる。	主体的に学ぶ力 介護福祉士としての使命感をもって、 介護を実践し学び続ける態度を身 につけている。
---	---	--	---	--

カリキュラムポリシー (教育課程編成の方

- 1 人間力を養うため、「茶道文化」、「社会人基礎入門」をはじめとした基礎科目、「人間の尊厳と自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「介護の基本」などの専門科目を配置する
- 2 専門的知識と技能を養うため、介護の領域として「介護の基本」、「生活支援技術」など、こころとからだのしくみの領域として「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」など、人間と社会の領域として「社会の理解」など、順次性と系統性を考慮しながら配置する
- 3 コミュニケーション能力を養うため、基礎的な知識の習得を目指して「コミュニケーション技術」を配置する。また、コミュニケーション能力を発揮する機会として「介護実習」を配置する
- 4 課題解決能力を養うため、「介護過程」を配置し、「介護の基本」、「生活支援技術」、「こころとからだのしくみ」といった知識と技能の修得に関する科目と「介護実習」をつなぐ
- 5 主体的に学ぶ力を養うため、実習前後の準備と事例研究の作成を行う「介護総合演習」と59日間の「介護実習」を配置する



2025年度 地域共生学科国際コミュニケーションコース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科国際コミュニケーションコースのディプロマポリシー					
現代社会を生き抜く力 社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている。		専門的知識や技能 確かな語学力をもち、情報機器の操作のスキルと合わせてプレゼンテーション等情報の発信が行える。		異文化知識・対応能力 コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができる。	
課題解決能力 専門的知識や技能を適切に用いて実践的な課題の解決に取り組むことができる。		キャリアデザイン力 （2年間の）学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができる。			
カリキュラムポリシー （教育課程編成の方針）		豊かな人間力を養うために、全学必修の「茶道文化」、「データサイエンス基礎」をはじめとする基礎科目、学科の専門科目内でのグループワーク型授業、地域をフィールドに展開する「Awesome Sasebo! Project」関連科目を配置する。		専門的知識や技能を育むため、語学系の講義科目・演習科目や、比較文化学系の講義科目・演習科目を、順次性と系統性に配慮しながら配置する。講義科目においても可能な限り、アクティブラーニング型の授業を展開する。	
コミュニケーション能力を育むため、「Awesome Sasebo! Project」活動、インターンシップ、留学体験等、多様な学外体験学修の場に出会う多様な人々（学修に関するステークホルダー）との交流を促進する機会を設ける。		課題解決能力を育むため、（実践的な課題を発見し解決する力を高めるために）「Awesome Sasebo! Project」活動、インターンシップ、留学体験等、多様な学外体験学修の場を本学科の教育課程の中核に位置づける。		キャリアデザイン力を育むため、「キャリアガイダンス」、「キャリアプランニング」、「ビジネスマナー」等のキャリア関連の専門科目を適切に配置し、「卒業研究」を総まとめ科目とする。	
2 年 後 期 8 Q	完成	卒業研究			
		実践ビジネスマナー（留）	英語演習Ⅱ 中国語／韓国語会話Ⅱ 英語/中国語/韓国語特別演習Ⅱ		Awesome Sasebo!Ⅲ Office総合演習
2 年 後 期 7 Q	発展	卒業研究			
		英語／中国語／韓国語／日本語ライティング&グラマーⅡ 総合日本語 英語／日本語演習Ⅱ	比較文化研究		Awesome Sasebo!Ⅱ Office総合演習
2 年 前 期 6 Q	応用	ホスピタリティビジネス	英会話Ⅴ 中国語／韓国語会話Ⅱ		
		茶道文化Ⅳ	英語／中国語／韓国語／日本語アクティブラーニング		
2 年 前 期 5 Q	定着		英語／日本語演習Ⅰ 英会話Ⅵ 応用日本語 日本語多読Ⅳ 日本語会話Ⅵ	国際・時事研究 Awesome Sasebo!Ⅰ	中国語／韓国語検定Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		茶道文化Ⅲ	英語／日本語演習Ⅰ 日本語会話Ⅴ 英会話Ⅲ 日本語多読Ⅲ	国際・時事研究（留）	学外学修事後指導（日） キャリアガイダンス（留） 日本語検定Ⅲ 英語検定Ⅲ 中国語／韓国語検定Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
1 年 後 期 4 Q	検証	スポーツ実習	日本語ライティング&グラマーⅠ 海外文化事情（留学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		学外学修事後指導（留）
		インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	基礎日本語Ⅱ 日本語会話Ⅳ		ビジネス文書（留） インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
1 年 後 期 3 Q	実践	実践グローバル・リーダーシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ／実践AwesomeSasebo!（サービslラーニング）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ			
			英語/中国語/韓国語特別演習Ⅰ	地域と職業 地域と人々	
1 年 前 期 2 Q	導入	学外学修事前指導（日） 茶道文化Ⅱ	英語／中国語／韓国語ライティング&グラマーⅠ 基礎日本語Ⅱ 日本語会話Ⅲ 日本語多読Ⅱ	コンピュータ演習Ⅱ	ビジネス文書（留） 日本語検定Ⅱ
			実践Awesome Sasebo!（サービslラーニング）Ⅰ・Ⅱ（留） 英会話Ⅱ 中国語／韓国語会話Ⅰ	地域と職業 地域と人々	
1 年 前 期 1 Q	準備		英語多読		異文化理解演習
		実践ビジネスマナー 学外学修事前指導（留） 茶道文化Ⅰ データサイエンス基礎 スポーツ実習 心理学	英会話Ⅰ 中国語／韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 日本語会話Ⅱ 日本語多読Ⅰ 基礎日本語Ⅰ		英語検定Ⅱ ホテル業論 キャリアガイダンス ビジネス文書
全学共通科目		茶道文化Ⅰ／茶道文化Ⅱ／茶道文化Ⅲ／茶道文化Ⅳ／大学教育入門／データサイエンス基礎			

2025年度 保育学科 カリキュラム・フローチャート

保育学科のディプロマポリシー

社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている	保育に関する専門的知識・技能を修得し、体系的な理解ができる	保育の対象を理解し、保育にかかわる様々な人々と協働する力を身につけている	保育に関する専門的知識・技能を応用し、様々な課題を解決する保育実践力を身につけている	自己課題を探索し、地域の保育の発展と向上のために学び続ける力を身につけている
----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------	--	--

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方

1 大学教育の学びの基礎を養うために、基礎教育科目を配置する	2 保育・教育の本質と目的に関する科目を配置する。	3 保育の対象の理解に関する科目を配置する	4 保育の内容・方法に関する科目を配置する	5 保育実践に関する科目を配置する
--------------------------------	---------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------

2年後期
7Q/8Q

学びの振り返りと定

2年前期
5Q/6Q

学び
の
実践

1年後期
3Q/4Q

学び
の
礎

1年前期
1Q/2Q

全学共通科目

カリキュラムポリシー (実施の方針)

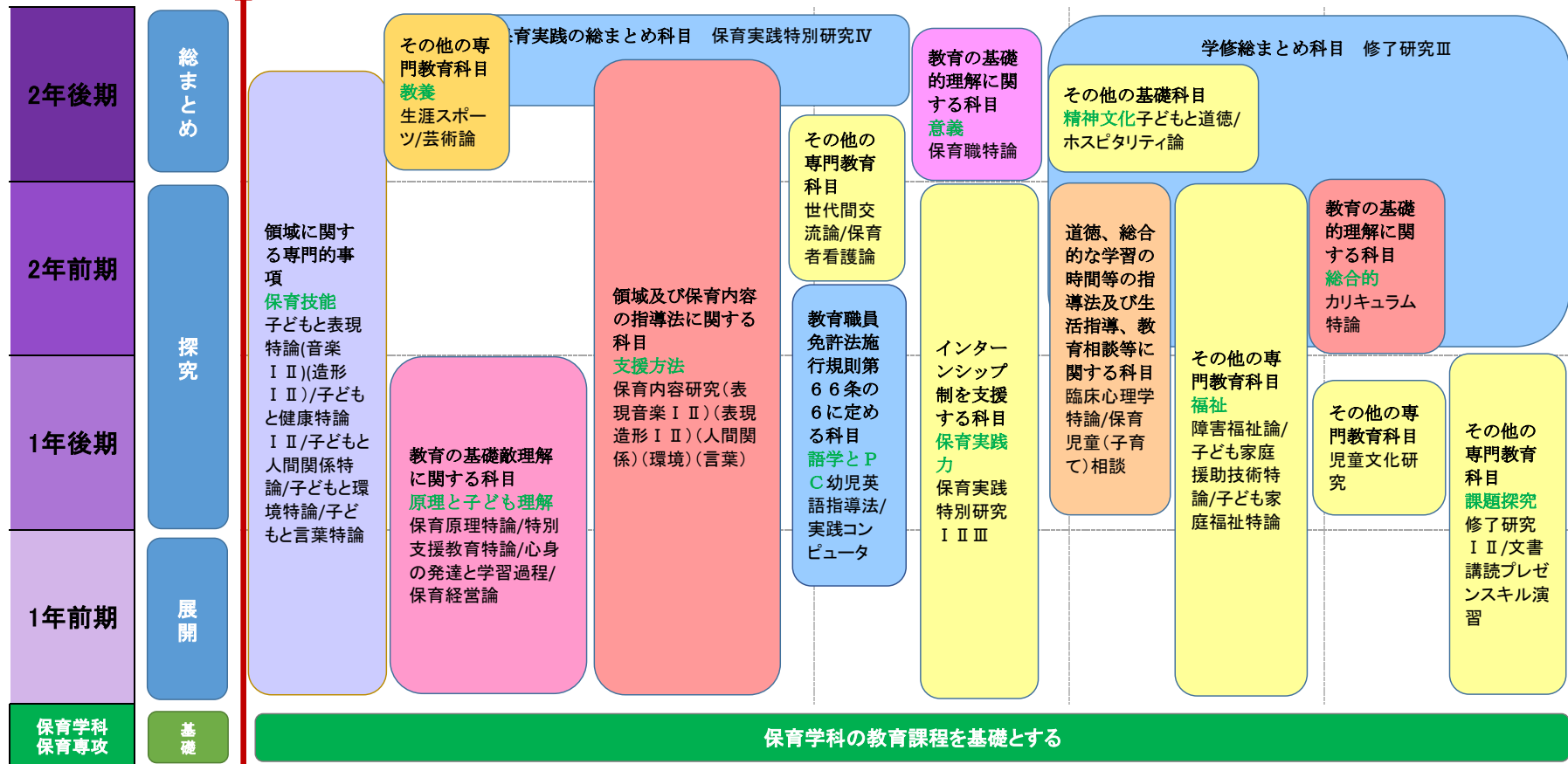
教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。

(1) 教育内容
児童福祉法及び規則ならびに教育職員免許法施行規則を遵守し、教科科目や保育に関する専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。

(2) 教育方法・学習方法
学期（セメスター・クォーター）ごとに、講義、演習、実習、実技を適切に配置し、実習実技による授業、反転授業、フィールドワークなどのアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。学生の学習成果の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックをするよう努めます。

2025年度 専攻科保育専攻 カリキュラム・フローチャート

専攻科保育専攻の ディプロマポリシー (修了認定・学位授 与の方針)	I 知識・専門技術・理解 豊かで幅広い教養を身に付けている 保育に関する専門的知識・技術を修得し、子どもを取り巻く環境を社会認識によってとらえ正しく理解している	II 汎用的技能 保育の様々な場面で問題を多角的かつ根源的に理解・分析し、解決していく力を身につけている	III 態度・志向性 地域の発展・向上に寄与する使命感を持ち、協働の意識とマナーを身につけ、保育の現場を支えることができる	IV 総合的な学習経験と創造的思考力 体系的な学習と現場での経験を総合的保育力として総合し、保育の様々な課題を探究し続ける思考を持っている
カリキュラムポリシー (教育課程編成の方 針)	1 保育現場において活用する語学とPC操作の科目を配置する。 保育職の意義、保育の基礎理論、幼児の理解および幼児の活動を支援する方法に関する科目を配置する	2 保育実践力を培うための科目を配置する	3 幼児を取り巻く社会状況の認識や精神文化についての科目を配置する	4 課題探究と総合的保育力を向上させるための科目を配置する



カリキュラムポリシー (実施の方針)

教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。

(1) 教育内容

全学共通の教養科目や各学科の専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。

(2) 教育方法・学修方法

学期(セメスター)毎に、講義、演習を適切に配置し、保育ならびに教育機関等の実地視察、保育インターンシップを支援する授業、実務家教員による授業などを取り入れたアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックする